

児童発達支援事業所における自己評価結果(公表)

公表: 令和4年3月31日

事業所名 コロニー児童デイサービスとみぐすく発達

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	8		コロナ禍で外出支援が難しい中、室内や屋上にて楽しむことができています。	
	2	職員の配置数は適切である	8			
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	8			
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	8		オープンな室内になっていて、清潔、安全に配慮しています。	
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	6	2		
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	8			
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	8			
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	8			
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	5	3	今年度はオンラインでの研修の機会を確保した。	定期的な研修の機会を確保できるよう、計画を検討していきます。
適切	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	5	3		アセスメントは適切に行なっているが、客観的に分析した課題の共有に工夫が必要なため、共有方法を検討していきます。
	11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	5	3		アセスメントツールを使用しているが、職員全体への共有を向上できるように連携方法を検討していきます。
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	5	3		
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	8			

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
な支援の提供	14	活動プログラムの立案をチームで行っている	5	3		
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	8			
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせることで児童発達支援計画を作成している	8			
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	8		毎日、リーダーを決めて行っている。申し送りノートを活用しています。	
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	7	1	日誌の記入時に話し合いながら行っています。	
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	8			
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	5	3		職員全体で把握し、取り組んでいきます。
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	8			
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	8		必要に応じて対応し、連携しています。	
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	8		医療的ケアを受けている児童はいるが、リハビリ等受けている児童に関しては、関係機関と連携しデイで出来ることは取り組んでいます。	医療ケアの必要な児童は利用していませんが、必要な場合は、実施方法を検討していきます。
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	8			医療ケアの必要な児童は利用していませんが、必要な場合は、実施方法を検討していきます。
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	8		お迎えの時に、デイや園での様子を話し合い情報を共有しています。	
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	6	2	必要な児童には、就学前に引き継ぎ等で連携を行うよう工夫しています。	
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	8		管理者が各機関と連携をとり、職員への通達を行っています。	
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	8		コロナ禍で厳しくなったが、少人数体制で近隣の学童さんとの交流(イベント)を工夫して実施しています。	
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している		8	コロナ禍で中止になることがほとんどで参加出来ない状況でした。	新型コロナの影響により参加の難しい状況にありましたが、コロナの終息後より参加していけるよう検討します。

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
	30	8		お便り帳や送迎時に伝えられるようにしています。	
	31	8		相談等がある場合は出来る範囲で助言等を行っています。	トレーニングとしての家族支援プログラムを実施できていませんが、今後は実施方法を検討していきたいと思います。
保護者への説明責任等	32	8			
	33	6	2		
	34	8			
	35	2	6	コロナ禍で厳しい状況にあった為色々な会を開催できなかった。	新型コロナの影響により開催が難しい状況にありましたが、コロナの終息後より開催していけるよう検討します。
	36	8			
	37	8		活動の様子をのせた便りを発行しています。毎月の活動予定表をカレンダーと一緒に配布しています。	
	38	8			
	39	8			
	40	5	3	畑で収穫したものを子どもたちと一緒に近隣へ配ったりしています。	
	非常時等の対応	41	5	3	研修を行い、マニュアルの見直しを行ったので今後実施していきます。
42		3	5		
43		8		アセスメントにて確認しています。	
44		8			
45		6	2		

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	4	4	研修を受けた職員が会議等で伝達を行い周知できるよう取り組んでいる。	定期的な研修の機会を確保できるよう、計画を検討していきます。
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している		8		身体拘束を行う児童がない為記載はしていないが、必要に応じて検討していきます。

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は事業所全体で行った自己評価です。